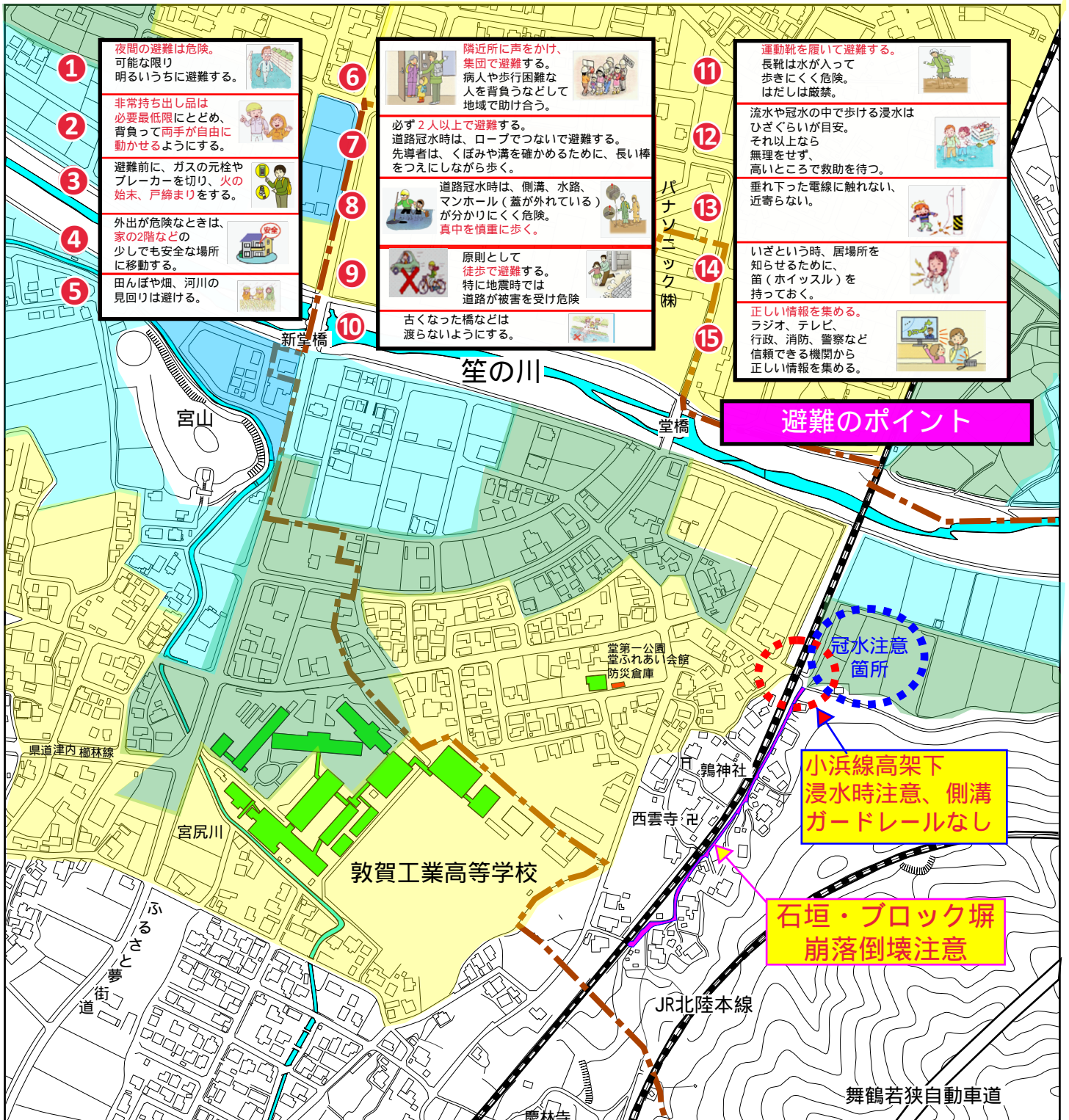


堂区防災マップ (洪水浸水災害)



- 1 夜間の避難は危険。可能な限り明るうちに避難する。
- 2 非常持ち出し品は必要最低限にとどめ、背負って両手が自由に動かせるようにする。
- 3 避難前に、ガスの元栓やブレーカーを切り、火の始末、戸締まりをする。
- 4 外出が危険なときは、家の2階などの少しでも安全な場所に移動する。
- 5 田んぼや畑、河川の見回りは避ける。

- 6 隣近所に声をかけ、集団で避難する。病人や歩行困難な人を背負うなどして地域で助け合う。
- 7 必ず2人以上で避難する。道路冠水時は、ロープでつないで避難する。先導者は、くぼみや溝を確かめるために、長い棒をつえにしながら歩く。
- 8 道路冠水時は、側溝、水路、マンホール(蓋が外れている)が分かりにくく危険。真中を慎重に歩く。
- 9 原則として徒歩で避難する。特に地震時では道路が被害を受け危険
- 10 古くなった橋などは渡らないようにする。

- 11 運動靴を履いて避難する。長靴は水が入って歩きにくく危険。はだしは厳禁。
- 12 流水や冠水の中で歩ける浸水はひざぐらいが目安。それ以上なら無理をせず、高いところで救助を待つ。
- 13 垂れ下がった電線に触れない、近寄らない。
- 14 いざという時、居場所を知らせるために、笛(ホイッスル)を持っておく。
- 15 正しい情報を集める。ラジオ、テレビ、行政、消防、警察など信頼できる機関から正しい情報を集める。

避難のポイント

小浜線高架下
浸水時注意、側溝
ガードレールなし

石垣・ブロック塀
崩落倒壊注意

<p>避難準備・高齢者等避難開始</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・気象情報に注意を払い、立ち退き避難が必要と判断したときは、家族との連絡、非常用持ち出し品の準備など、避難準備を開始します ・土砂災害警戒区域等に居住する方は、避難場所への移動を開始します ・避難に時間を要する人(ご高齢の方、障がいのある方、乳幼児をお連れの方など)は避難しましょう
<p>避難勧告</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・立ち退き避難が必要な方は、避難場所への移動を開始します。ただし、周辺の状況を見て避難場所を目指すことが危険と判断した時は、近隣のより安全な場所へ移動し、外に出ることすら危険な場合は、屋内で安全を確保します ・屋内にとどまることを選択された方は、自宅の2階など屋内の安全な場所に移動します
<p>避難指示(緊急)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・立ち退き避難中の方は、速やかに避難を完了します ・立ち退き避難が必要な方で、いまだ避難を開始していない場合は、周辺の状況を見て、移動を開始するか屋内で安全を確保するかを選択し、直ちに避難行動を開始します ・外出することでかえって命に危険が及ぶような状況では、自宅内のより安全な場所に避難をしましょう

凡例	
洪水浸水想定区域	
・2m~5m未滿	
・1m~2m未滿	
・0.5m~1m未滿	
・0.5m未滿	
指定避難所	
・敦賀工業高等学校	
・中郷小学校	
・中郷体育館	
・粟野南小学校	

堂区防災マップ (土砂災害)

土砂災害前兆現象

がけ崩れ

- ・がけに亀裂が入る
- ・がけからの水が濁る
- ・がけから音がする
- ・小石がバラバラ落ちてくる
- ・異様な臭いがする

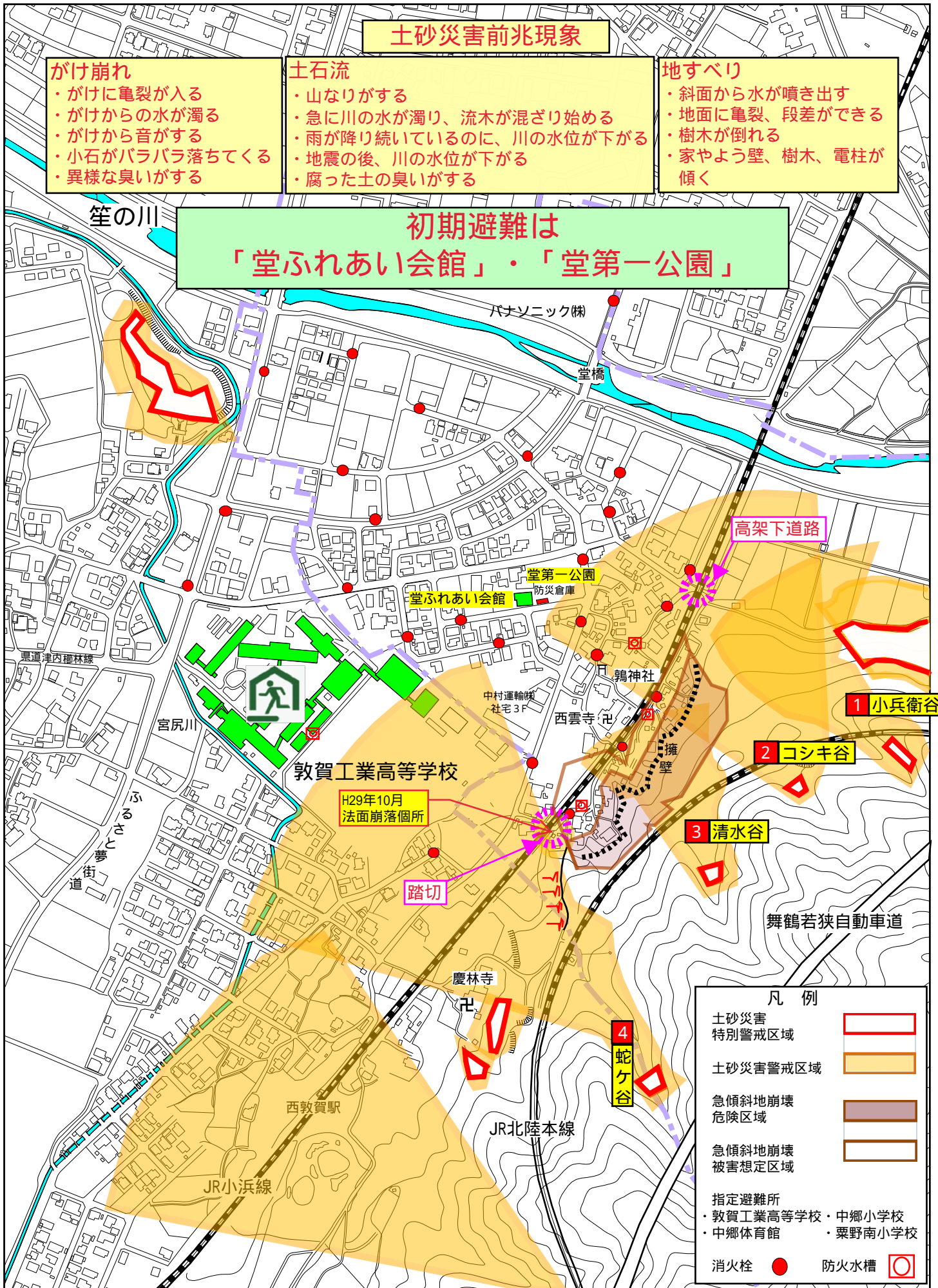
土石流

- ・山なりがする
- ・急に川の水が濁り、流木が混ざり始める
- ・雨が降り続けているのに、川の水位が下がる
- ・地震の後、川の水位が下がる
- ・腐った土の臭いがする

地すべり

- ・斜面から水が噴き出す
- ・地面に亀裂、段差ができる
- ・樹木が倒れる
- ・家やよう壁、樹木、電柱が傾く

初期避難は
「堂ふれあい会館」・「堂第一公園」



凡例	
土砂災害特別警戒区域	
土砂災害警戒区域	
急傾斜地崩壊危険区域	
急傾斜地崩壊被害想定区域	
指定避難所	<ul style="list-style-type: none"> ・敦賀工業高等学校 ・中郷小学校 ・中郷体育館 ・粟野南小学校
消火栓	
防火水槽	